

資料提供(三重県・奈良県・和歌山県提供)
令和6年7月17日(水)

問い合わせ先	
総務部知事公室	美しい南部東部振興課
担当者	大西、椋本
電話	0744-48-3015

第34回紀伊半島知事会議の結果概要について

令和6年7月16日に開催しました第34回紀伊半島知事会議の概要については、以下のとおりでした。

開催日 令和6年7月16日(火)
開催場所 北山村村民会館(和歌山県北山村)

出席者 日本郵政(株)取締役
兼代表執行役社長 増田 寛也
和歌山県知事 岸本 周平
三重県知事 一見 勝之
奈良県知事 山下 真
新宮市長 田岡 実千年
北山村長 山口 賢二
熊野市長 河上 敢二
御浜町長 大畑 覚
紀宝町長 西田 健
十津川村長 小山手 修造
下北山村長 南 正文
上北山村長 山室 潔

概要

【増田社長講演要旨】

- 縮小社会にどう対応するかが重要であり、東京一極集中の是正など国、知事会で議論が必要。

コミュニティ機能、共助は地方に強みがあるので、どう仕組みを作り上げるかが重要。大胆な税制優遇措置や二地域居住、地域生活圏等がキーワード。

地域のあり方をまず議論することが重要。紀伊半島は一つのモデルになる。熊野古道をはじめとした文化的、歴史的背景を生かした地域づくりを目指すべき。

半島振興法がまもなく期限を迎えるが、単なる延長ではなく、半島地域のあり方についても議論する必要がある。

【広域連携・広域行政】

- 行政サービスの維持に向けた連携・支援の在り方や、市町村における現状及び2040年を見据えた将来的な課題等について意見交換を行い、共通する課題を中心に、今後事務レベルで意見交換を行うことを確認しました。

奈良県知事は、県と市町村の共同実施の事例として奈良県フォレスターアカデミーにおける人材育成に関する取組を紹介しました。

【紀伊半島アンカールート of 整備推進】

- 命の道であり、重要物流道路でもある紀伊半島アンカールート of 整備推進について、引き続き3県が連携して取り組んでいくとともに、国へ要望することで合意しました。

【熊野川流域 of 総合的な治水対策および土砂災害対策】

- 熊野川流域 of 総合的な治水対策および土砂災害対策について、引き続き3県が連携して取り組んでいくとともに、国へ要望することで合意しました。

【「紀伊山地 of 霊場と参詣道」世界遺産登録20周年に合わせた紀伊半島3県連携事業】

- 「紀伊山地 of 霊場と参詣道」 of 世界遺産登録20周年を契機とした機運 of 醸成を図るため、3県が連携した観光プロモーション or 誘客PRイベントを行い、今後の観光誘客 of 促進に向け、3県が連携することを確認しました。